

特別講演（職場適応部会主催）

## 地方創生における産業の確立、淡路島への本社移転と新しい働き方

### 1 日時

9月19日（日）13:00-14:30

### 2 講師

株式会社パソナグループ 取締役副社長執行役員 山本絹子

### 3 趣旨

近年、従業員の働きやすさを高める方法について注目されるようになってきた。特に、新型コロナが蔓延してからは、テレワークやワーケーションなど、従業員の働く場所の柔軟性を高めることが求められており、今後もこうした傾向が続くと考えられる。また、地域づくりなど、会社が地域や社会で果たすべき役割についても重要な課題である。

本講演では、株式会社パソナグループ取締役兼副社長の山本絹子様にご登壇していただく。株式会社パソナグループでは、本社機能を兵庫県の淡路島に移転することで注目を集めている。山本副社長からは、淡路島移転の目的、従業員にもたらされた変化や今後の方向性などについて話をしていただくことを予定している。今回の講演によって、従業員の働き方と心理、企業の果たすべき社会的責任について考える契機としたい。

## ESG を巡る企業行動の実態－日本と海外の比較から

### 1 日時

9月18日（土）15:30-17:00

### 2 企画

関口倫紀（京都大学）

### 3 パネリスト

塩野誠（株式会社 経営共創基盤 パートナー）

夫馬賢治（株式会社ニューラル 代表取締役）

ムーギー・キム（株式会社ディープ・キャリア 代表取締役・京都大学博士課程）

### 4 内容

近年、世界中で ESG 投資と企業の ESG 対応の動きが急速に広がっている。この現象をどのように説明し、今後の展開をどのように予測できるだろうか。これが単なる流行現象にすぎないのであるならば、ESG に期待されていた成果が出ないことが知れ渡った時、このトレンドは急速にしぶんでいくであろう。ただ、実際には流行を上手く着こなして、企業価値を多様な尺度で高めていく企業も存在すれば、流行を表面的に真似るだけで、単なるコスト増に終わる会社も存在するであろう。また、ESG は CSR やフィランソロピー投資等の類似概念に比べ、どのような共通点と相違点があるのだろうか。ESG ブームはどのような形で定着ないし変容していくのだろうか。

これらの問いに関して、フィンランドに長らく駐在し、ヨーロッパ企業の ESG 対応に詳しい株式会社経営共創基盤パートナーの塩野誠氏、多くの企業に ESG 関連コンサルティングを提供する株式会社ニューラルの夫馬賢治氏、そして、京都大学にてマネジメントファッション理論と新制度派組織論の観点で学術的視点からこの現象を紐解こうとしているムーギー・キム氏を招いたパネルディスカッションを行う。